

慶雲寺報

NEWS

★ 11/16 山門施食会

教区内寺院住職さま・副住職さまの読経の中、お檀家の皆様の先祖供養が勤まりました。本年は、世代交代のあったお寺さまが2ヶ寺あり、フレッシュな顔ぶれでの法要となりました。

まだお参りいただいていないお宅のお塔婆が、堂内に残っております。正月準備までは保管いたしますので、お早めにお参り下さい。

不在の場合、ご随意に本堂内へどうぞ

★ 平成三十一年度年回表

来年度年忌にあたるご先祖様は左表の通りです。

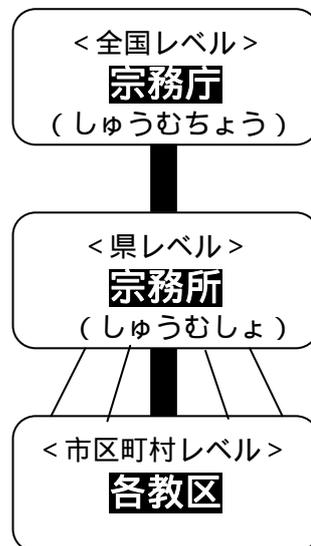
一周忌	平成三十年没
三回忌	平成二十九年没
七回忌	平成二十五年没
十三回忌	平成十九年没
十七回忌	平成十五年没
二十二回忌	平成九年没
二十七回忌	平成五年没
三十三回忌	昭和六十二年没

該当するお宅には、年明けに通知を差し上げます。

ご先祖様に報恩の思いをお供えしましょう。

★ 栃木県宗務所 庶務主事に就任

国や県の行政機関のように、曹洞宗内においても似たような組織がございます。



この12月が、県レベルの宗務所長 以下 役職員の改選期に当たっており、

12月11日から

住職は【庶務主事】という役職を

拝命することとなりました。

今期の事務所は、県北の大田原に置かれるため、執務および諸行事の折には、片道約40キロの通勤をすることとなります。

基本の執務日は、

火曜 / 金曜

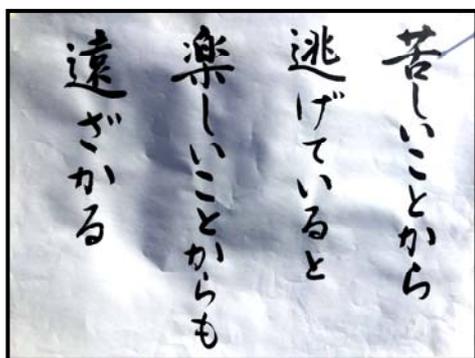
となっております。

自坊の都合等である程度の融通は利きますが、どうしても外すことの出来ない、県や全国レベルの大きな行事・研修などもございます。

つきましては、ご葬儀やご法事等々、ご当家のご希望に添えない時もあるかと存じます。お檀家の皆様には、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

◎ 伝道揭示板から

子供の頃覚えたことわざは、大人になっても価値観の基軸となるような気がします。皆様ご承知の【苦あれば楽あり。楽あれば苦あり】。



お釈迦様から言えば、苦も楽も人間の思い計らいということになるかもしれませんが、迷い悩む人々に対してこんな喩え話が遣されていきます。「努め精進することは大切である。(キリモミ式)火を起こそうとした時、熱くなる直前で休んでしまえば、火を得ることはできない。」

きめ細かい準備作業を経て、仕事で契約にこぎつけたノブレンを成功させた。厳しい受験勉強を経て、合格を勝ち取った。手間の掛かる調理の段取りを経て、家族団らんが笑顔に包まれた。など...苦しさや楽しさは表裏一体です。

日常生活の中で、必ず苦しい場面はやって来ます。その時に、背伸びしすぎず出し惜しみせず、着々と《努め精進》すること。平成最後の年末にあたり、自身の振り返りの視点の一つにしていただけだと存じます。

新年年賀参りのご案内

年が明けましたら、新年の御札をお届けいたします。菩提寺への年始参りは、例年同様1/16を予定しております。多くの皆様のお参りをお待ちいたしております。